



平成 30 年 10 月 10 日
佐賀大学理工学部

佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(4)

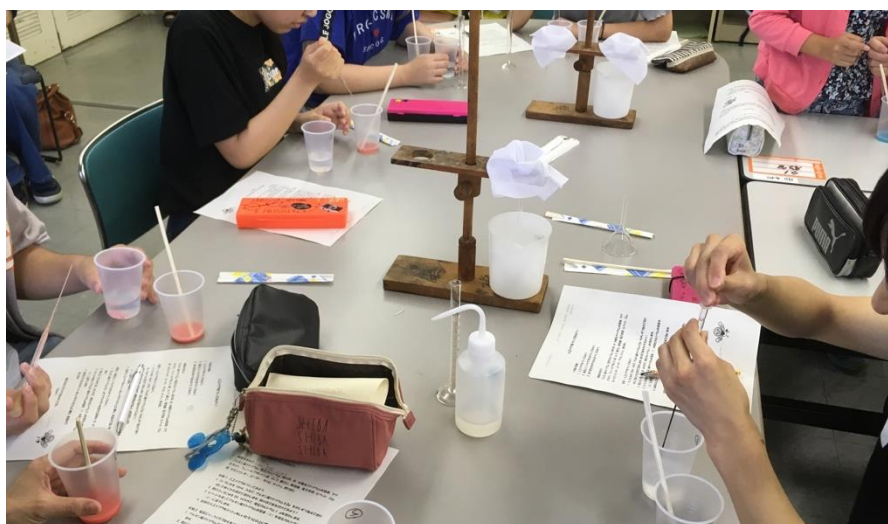
【概要】

佐賀市旧青少年センターの一室にある不登校支援機関の適応指導教室「くすの実」にて理工学部の教員と循環物質化学専攻大学院生らが本年度4回目の理科実験教室を実施しました。

【本文】

理科実験教室支援活動は、佐賀市教育委員会の不登校支援機関である適応指導教室「くすの実」の要請により、理科への興味をきっかけに子供達の就学意欲を惹起することを目的に平成17年から行なっています。

本年度第4回目の理科実験教室は、平成30年9月21日(金)に循環物質化学専攻の大学院生、機能物質化学科の大学4年生が理工学部機能物質化学科 長田聡史准教授とともに「人工イクラを作ってみよう」と題してアルギン酸ナトリウムと塩化カルシウムからイクラ様のものを作る実験を行いました。生徒たちはイクラとは異なる独特の着色を行い、オリジナルのタマゴ(?)を作成しました。独特の形を作ろうと熱心にチャレンジする姿もありました。アルギン酸ナトリウムは海藻から得られる物質で、市販のお菓子などにも使われていることを、教員と学生が参加した子供達にわかるように説明しました。



「理科実験教室」の様子